



Title	GLOCOLブックレット09 はじめに
Author(s)	久保井, 亮一
Citation	GLOCOLブックレット. 2012, 9, p. 3-5
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/48286
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

はじめに

久保井亮一

大阪大学北米(サンフランシスコ)教育研究センター長

本プロジェクト(PJ)は、本学の創立80周年を祝い、米国サンフランシスコ(SF)・ベイエリアを舞台として、「新咸臨丸スピリッツ」(適塾スピリッツ)を共有する若手グローバル・イノベーション人材を育成すること、それを通して真に人類のための未来科学技術を開拓し、日本の新たな国際化と世界に貢献することを目指して2010年にスタートした。

これは、明治維新前後の激動期にあって、日本中から集った有志が寮生活を共にしながら、学生同士による切磋琢磨を通して、自立した多くの若きリーダーを輩出し、危機にあった日本の国際化をリードした本学の原点「適塾」のスピリッツを復興する意義を込めている。

独立自尊迎新世紀を説き、咸臨丸でSFに渡航した福澤諭吉も適塾卒業生の一人であるが、その意味で、各方面の協力を得て、日米友好の歴史を開いた咸臨丸のSF渡航150周年の佳節、2010年に、SFでの分野横断型の日米若手・学生交流ワークショップの持続的開催を通して、自立して未来の人類・世界に貢献できるグローバル人材の育成を目指して、小規模ながらも本新咸臨丸プロジェクトが発進した意義は大きいと思われる。

さらに、第2回新咸臨丸プロジェクトを計画中の、2011年3月11日の東日本大震災・福島第一原発事故は、日本のみならず世界を震撼させた未曾有の大災害・大事故であり、これを受けて本PJも新たな意味を持つこととなった。即ち、前代未聞の危機に際して、如

何に対応しよりよい社会・文明を築くべきか、未来世代のための責任の観点からも、科学技術および科学技術者や、科学技術政策のあり方を問い、またその歴史的な意味を理解して、新たな科学技術・政策を創造する人材を育成し、文明の危機の解決に挑戦するという新たな意義である。

そこで「新咸臨丸プロジェクト2011」は、“Build-Back-Better, Go Beyond the Crisis-Challenge to Work Together for Better World (Japan and California)”、そして3.11の東日本大震災からの復興をテーマとして、大阪大学大学院各研究科・GCOEより19名、米国UCバークレー・サンディエゴ・リバーサイド、スタンフォード大学等より16名の院生、合計35名の日米の学生たちを迎えて10月26日-11月3日まで、当SFセンターを中心にUCバークレー日本学研究センター・シリコンバレー等を舞台に実施され、無事盛会裏に終了しましたので、ここに協力いただいたGLOCOLのブックレットとしてご報告させていただく次第です。

なお実施に際しては、基調講演をいただいた本学高部教授、本学産学連携本部VBL・CLICを始め、OSIPP、GLOCOL、北米同窓会他にも協力いただき、本学各研究科・GCOE、SF総領事館、大阪市シカゴ事務所、JSNC、住友電工SJ支社等の企業等にも協力いただくことができました。猪俣総領事・原田首席領事、佐古大阪市シカゴ事務所長・UC Berkeley Gronskey教授・Martin I-House館長始め、ご挨拶や激励メッセージをいただいた皆さま、会

場提供やラボ訪問等で種々ご協力いただいた
皆さま、講師・メンター・ファシリテーター・
東北とのTV中継での参加各位、米国側院生
の参加に協力いただいた浦辺・竹谷・Weber
氏他の方々、そしてまた全プログラムの実施
に、献身的にご尽力いただいた多くの教員・
スタッフの皆さまがたに心より感謝申し上げ
ます。

Shin-Kanrin-Maru Project 2011 Japan-US “Tomodachi” Operation



“Build-Back-Better, Go Beyond Crisis”

*-Challenge to Work Together for Better World
(Japan and California)-*

Oct.27(Symp. @ UCB-CJS), Oct.30-31 2011

WS@San Francisco Center of Osaka University



**“Proposals for Future: Starting from Inconvenient Truth after
FUKUSHIMA” Symp.Plenary Lecture by Prof. H.Takabe, Osaka Univ.
Voice from TOHOKU etc.**

Program Goals

- Develop Leadership skills for Global Citizen
- Study how to build a team to respond to a crisis
- Finding supporters, resources, and One's Own Potentials

Theme to Design Sustainable Society

- Nuclear Power, New Clear Power, and Sustainable Energy Policy
- SNS and Grass Roots Network
- Frontier Materials, Green Tech. and System/Human Science
- Earthquake/Civil Eng. ETC.

Sponsored by

Osaka University
San Francisco Center
Osaka University, GCOEs, · · ·
Office for University Industry
Collaboration CLIC, VBL
(info@osaka-u-sf.org)

